



「使われ活きる防災公園」CMでもおなじみ IKE・SUNPARK(イケ・サンパーク)

～フェーズフリーの先進事例を取材してきました～

群馬県 県土整備部 都市計画課・都市整備課

■ はじめに

2023年に都市公園は制度制定150周年を迎えました。その150年という、長い年月の中で、都市公園は時代に合わせてそのあり方が変化し続けてきました。令和4年度、国交省のとりまとめた「都市公園の柔軟な管理運営のあり方に関する検討会」の中でも、都市公園新時代～公園が活きる、人につながる、まちが変わる～と銘打たれ、地域の価値を高め続ける「使われ活きる公園」を目指すとされています。

今回は、そんな「使われ活きる公園」の一例として、近年注目されているフェーズフリー公園である、IKE・SUNPARK(正式名称：としまみどりの防災公園)を取材してきました。



家族連れ等で賑わうIKE・SUNPARK

■ IKE・SUNPARK(イケ・サンパーク)について

IKE・SUNPARKは正式名称を「としまみどりの防災公園」と言い、豊島区東池袋に位置し、西側は池袋副都心、東側は木造住宅地域に隣接する、約3.2ha(32,000㎡)の公園です。この公園は、造幣局跡地に設置されており、造幣局の移転要望や防災公園の設置要望にいたるまで、地元住民の主導で行われました。そのため、整備手法も特徴的であり、設計及び施工の段階から、目指す将来像にふさわしい公園のあり方を反映させるため、公園の設計、施工、管理運営の一体型、事業者のコンソーシアムを組織して事業者を選定しています。

IKE・SUNPARKは単なる広場としての公園ではなく、3つのテーマ「CIRCULARITY(公園を起点に循環を生む)」「COMMUNITY(多様性を楽しめるコミュニティーをつくる)」「STARTUP(小商いや新しいチャレンジを応援する)」を設けて、これらに関する活動を行い、新しいカタチの公園となることを目指しています。

また、これらに「防災公園」としての機能を加えることで、災害に強く文化と賑わいを創出する活力ある市街地の形成を図っています。「使われ活きる防災公園」としてフェーズフリーを体現しているその取り組みについて見ていきましょう。

■ 平常時の賑わい創出

平常時の賑わい創出につながっている要因である、区内最大の芝生広場は、普段は遊具で遊ぶ子供連れや、芝生でくつろぐ人々で賑わいを見せています。事業のスタートアップ支援のために設置されている「KOTO-PORT」では多様な飲食物が提供され、Park-PFIで設置されているカフェは、平日のランチ時でありながら、満席という盛況ぶりでした。

また、非常時には電源として活躍する電気バスのIKEBUSも、平常時には快適でおしゃれな公共交通機関として近隣住民に愛される存在でした。



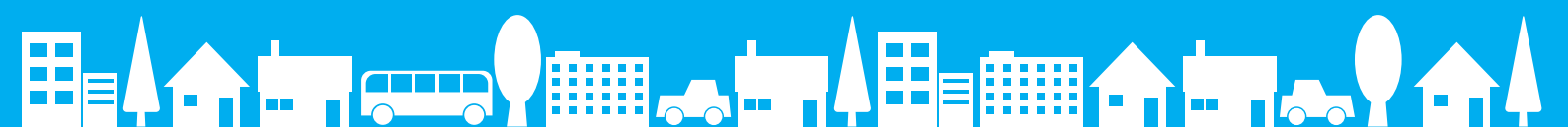
賑わいを見せる「KOTO-PORT」



カラフルでSNS映え確実な
IKEBUS(イケバス)のシート



IKEBUSのベース車両は桐生市の
企業・シンクトゥギャザー製のEVバス



■ 災害時への備え

平常時に賑わいを見せているIKE・SUNPARKは、災害時には防災公園としての真価を発揮します。平常時に賑わいを見せていた芝生広場は、一時避難場所や救援物資の搬入所、また、ヘリポートとして多様な機能を発揮します。

平常時には憩いの場所として機能する「こもれびの森」は、防災樹林として、火災の延焼を防ぐ機能を有しています。これは、近隣に日本有数の木造住宅密集地域があることに配慮したものです。

防災倉庫や災害用トイレも整備されており、防災倉庫は、平常時にはファーマーズマーケットで販売する生鮮食品の保管場所としても活用されています。



災害時には木造住宅密集地域への延焼を防ぐ防災樹林となる「こもれびの森」



隣接するインクルーシブ公園「としまキッズパーク」

■ としまキッズパーク

IKE・SUNPARKに隣接して整備されている「としまキッズパーク」は、障がいのある子どもない子ども一緒に遊べる「インクルーシブ公園」の先駆けとも言われている、予約制で利用できる公園です。

インクルーシブ公園とは、障がいがある子ども、ない子ども誰もが一緒に遊ぶことができる遊具や施設がある公園です。

公園内は、常に数名の職員が、事故などが起きないように監視してくれています。

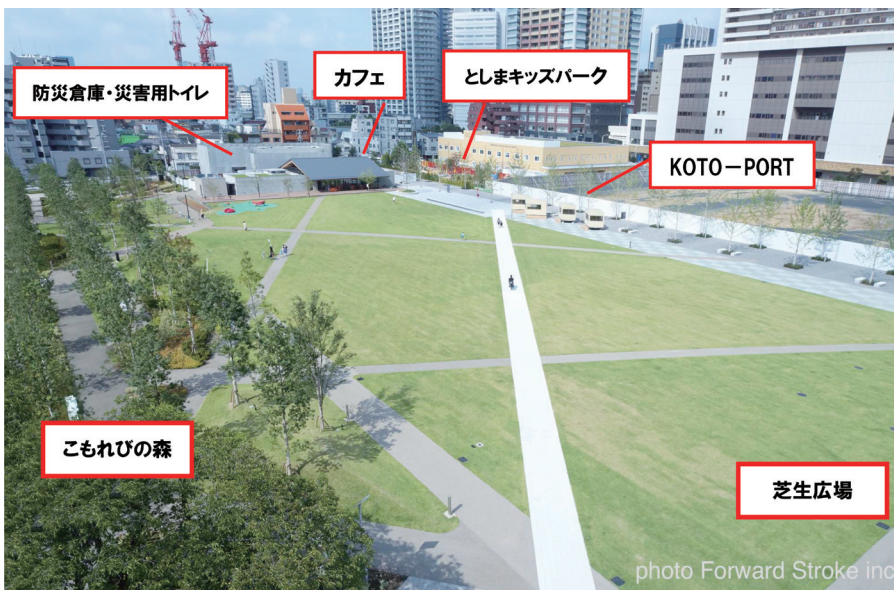
安全に楽しく誰もが遊べる環境が整っていることから、親も安心して遊ばせることができるため、取材当日も予約は全てうまっているとのこと、多くの子供連れで賑わっていました。

■ 終わりに

IKE・SUNPARKの真に優れているところは、平常時には放置されがちな防災公園を、フェーズフリーの概念を取り入れて、平常時にも非常時にも魅力的な公園として整備され、令和2年に全面開園してからも、類いまれなる工夫によって、持続的に魅力を高めているところにあると感じました。

非常に魅力的な公園ですが、この「おっ!!まっちい〜」の少ない紙面では、その魅力を伝えきることはできませんので、皆様も機会があったら、是非ともIKE・SUNPARKにお立ち寄りいただき、その素晴らしさを実感してみてください!!

——取材にあたっては、豊島区都市整備部公園緑地課のご担当者様並びに管理事務所の村田様に大変お世話になりました。ご協力ありがとうございました。



としまみどりの防災公園

(愛称: IKE・SUNPARK)

所在地 東京都豊島区東池袋4丁目42番

開園時間 5時~22時

公式HP <https://ikesunpark.jp>



周辺google
マップ



IKE・SUNPARK
公式HP

アクセス ・東京メトロ有楽町線「東池袋駅」
下車6番出口から徒歩5分
・IKEBUS(A・Bルート)「IKE・SUNPARK」下車徒歩0分
・JR「池袋駅」東口から徒歩15分
他

